

交通指導員の配置について

資料 4

【現在配置している指導員の状況】

学校名	指導員	NO	場所	人数	信号 (定周期)	信号 (押しボタン)	横断歩道	その他	危険内容	指導員の役割
犬山北小学校	1	①	犬山3号踏切	280				踏切（幅員3.2m）	踏切内、歩者分離ブロック無し。車との接触の危険有。	児童と車との接触が無いよう線路の端を通過させるよう指導する。待機時（列車通過時）に児童を道路脇に並ばせ安全を確保する。
犬山南小学校	2	②	橋爪止々馬木	90	×	×	○	変則4差路	車両の動き（行先）の予測困難。近隣に企業があり車両が多く通行する。	車の通行を確認し、横断歩道を安全に横断させる。
城東小学校	3	③登校時	城東小学校前（登校橋）	190	×	×	○		近隣に子ども未来園、企業有り。登校時に多くの車両が通行する。	車の通行を確認し、横断歩道を安全に横断させる。
		④下校時	清水交差点	340	×	○	○		城東中学校の生徒も通行する。一度にわたりきることができず、横断途中に信号が赤になることがある。	歩者用信号が点滅したら、児童の横断を制止させる。信号待ちの間、車道にはみ出さないよう見守り、はみ出した場合は注意をする。
羽黒小学校	4	⑤	羽黒字前川原	90	×	×	○		車両の速度が速い。緩やかな勾配があるため、通行児童の確認が遅れることがある。	車の通行を確認し、横断歩道を安全に横断させる。
楽田小学校	5	⑥	西北野	10	×	×	○	変則5差路	車両の動き（行先）の予測困難。	車の通行を確認し、横断歩道を安全に横断させる。
	6	⑦	的場	90	×	×	○	変則5差路	通勤の抜け道として通行する車両が多い。様々な方向から車がくるため、児童は車両の確認がしづらいため、横断しにくい状況である。	車の通行を確認し、安全に道路を横断させる。
東小学校	7	⑧	前原字門前	90	×	×	×		近隣に企業があり車両が多く通行する。	車の通行を確認し、安全に道路を横断させる。
犬山西小学校	8	⑨	上野字郷（上野橋）	120	×	×	○	変則6差路	車両の動き（行先）の予測困難。近隣に企業があり車両が多く通行する。	車の通行を確認し、横断歩道を安全に横断させる。
	9	⑩	犬山字北笠屋	180 犬山西小 90 犬山中 90	○	×	○		信号を横断した北側に、待避場所がほとんどなく、東西にわたる際の待避場所がほとんどなく、児童生徒がはみ出るため危険である。また、中学生と小学生の通学時間が重なるため、歩行者と自転車が入り混じっている。	車の通行を確認し、横断歩道を安全に横断させる。

※配置無し：今井小学校、栗栖小学校、池野小学校、市内中学校